

シモキサニルに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案） についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成26年10月1日～平成26年10月30日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. コメントの概要及びそれに対する食品安全委員会の回答

意見・情報の概要※	食品安全委員会の回答
<p>【意見1】 ウサギ催奇(1)のNOAELは32mg/kgで見られた口蓋裂に基づき8mg/kgとのことだが、もう一方のウサギ催奇(2)では15mg/kgでは影響が見られていない。両試験間の用量設定を考慮すれば、ウサギのNOAELとしては15が適切では。ARfDもこれに伴い修正を検討すべきでは。</p>	<p>【回答1】 ご指摘いただいた両試験については、認められた毒性影響や試験の実施時期が異なることから、個別に評価することが適当であると判断しました。 なお、急性参照用量（0.08 mg/kg 体重）の設定に当たっては、発生毒性試験（ウサギ）①の無毒性量である8 mg/kg 体重/日を根拠としましたが、補助的資料として用いたマウス90日間亜急性毒性試験①においても無毒性量として8.25 mg/kg 体重/日が得られており、今回設定した急性参照用量の値を支持できるものです。</p>

※頂いた意見・情報をそのまま掲載しています。